

\* 2002年1月28日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

[ご参考]

## ザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ、 2001年度第4四半期ならびに年間業績の概要を発表

当四半期の1株当たり経常利益は1.06ドルを計上

[米国 コネチカット州ハートフォード 2002年1月28日]

国際的な大手保険および金融サービス会社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ (NYSE 略称: **HIG**、以下「ザ・ハートフォード」) は本日、2001年第4四半期の業績を発表し、当四半期の経常利益は4%増加して2億6,100万ドルに達したことを明らかにしました。これは、損害保険事業部門における減益2,000万ドルが、生命保険事業部門およびその他事業部門の増益2,900万ドルによって相殺されたことによるものです。なお、経常利益には税引後の実現キャピタル・ゲイン(ロス)、リストラクチャリング関連費用、特別損失と会計方針の変更による累積的な影響は含まれていません。

当四半期の純利益は前年同期の2億7,300万ドルに対し、1億4,400万ドルにとどまりました。純利益と経常利益の差は、1) 主に、特定の国際事業からの撤退に関連したリストラクチャリング関連費用1,100万ドル、2) 信託優先証券(5億ドル)の早期償還による800万ドルの特別損失、3) 9,800万ドル(エンロン社発行証券の税引後評価損3,900万ドルを含む)の実現キャピタルロスが発生したことがあげられます。

ザ・ハートフォードの生命保険事業を日本で展開するハートフォード生命保険株式会社では、2001年における変額年金保険の販売額が560億円を突破しました。

ザ・ハートフォードの会長兼最高経営責任者であるラマニ・アイアー (Ramani Ayer) は当四半期の業績について次のコメントを発表しました。「当四半期は経営環境が激変したにもかかわらず、ザ・ハートフォードは積極的に活動しました。9月11日に発生した同時多発テロ事件に迅速に対応するとともに、全保険契約に関するテロ関連リスクの軽減策を直ちに実施しました。また、生命保険事業は株式市場の厳しい局面を乗り切り、好調だった前年同期を上回る経常利益を達成しています。損害保険市場は保険料水準、規制および引受条件の面で急速に変化しているにもかかわらず、当社ではいち早く対応をすませているため、2002年から2003年頃にはその効果があらわれてくるものと思われます。」

## 生命保険事業

当四半期における生命保険事業の経常利益は、前年同期の1億5,600万ドルに対し16%増加して1億8,100万ドルを計上しました。全事業部門において業績が改善した要因としては、2001年4月に実施したフォーティス・ファイナンシャル・グループ（FFG）買収によるプラス効果があげられます。投資商品の運用資産残高は前年比で4%増加し、1,203億ドルに達する一方、投資商品部門の販売およびその他の預託は2001年末わずかに増加して202億ドルに達しています。

2001年末現在の変額保険資産は、フォーティス・ファイナンシャル・グループ買収によるプラス効果も手伝い、前年を35%上回る40億ドルに達しました。また、個人年金部門のサービスが高い評価を受け、6年連続で「ダルバー顧客サービス賞」を受賞しました。

## 損害保険事業

当四半期の北米地域における損害保険事業の経常利益は前年同期比で19%減少し、9,100万ドルにとどまりました。これは、主として再保険部門ならびに個人保険部門における損失コストの増加によるものです。しかしながら、当四半期の北米地域における損害保険事業の正味収入保険料は前年同期比で13%増加し、19億ドルに達しました。

## 2001年度（1～12月期）の業績

2001年度（以下、「当年度」）におけるザ・ハートフォードの純利益は、5億700万ドル、1株当たり（希薄化後ベース）では2.10ドルを計上しました。年間業績には9月11日の同時多発テロ関連の4億4,000万ドル（1株当たり1.82ドル - 希薄化後ベース）の税引後損失、主として、生命保険事業（1996年～2000年分）に対し適用された税効果会計益1億3,000万ドル（1株当たり0.54ドル - 希薄化後ベース）が反映されています。なお、同時多発テロによる損失と税効果会計の影響を除外すると、当年度の純利益は、前年度の9億7,400万ドル、1株当たり4.34ドル（希薄化後ベース）に対し8億1,700万ドル、1株当たり3.38ドル（希薄化後ベース）に達しています。

また、当年度の経常利益は7億2,400万ドル、1株当たり3.00ドル（希薄化後ベース）を計上しています。同時多発テロによる損失と税効果会計の影響を除外すると、当年度の経常利益は、前年度の9億6,200万ドルから7%増加し、10億3,400万ドル、1株当たり（希薄化後ベース）では4.28ドルに達しています。

当年度の総収入は前年度の147億ドルを3%上回る151億ドルを計上しました。

2001年12月31日現在、ザ・ハートフォードの総資産は前年同日比で6%増の1,812億ド

ルとなっています。また、運用資産残高（投資信託資産を含む）も前年同日比で8%増加して1,980億ドルとなっています。2001年12月31日現在の未実現損益を控除した後の当社の1株当たり簿価は、前年同日の30.79ドルから10%上昇し、33.99ドルに達しました。

\* \* \*

ザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービスズ・グループ（NYSE 略称：HIG、以下「ザ・ハートフォード」）は米国でもっとも由緒ある国際的な大手保険および金融サービス会社の一つです。2001年12月31日現在、当社の総資産は1,812億ドル、株主資本は90億ドルに達しています。ザ・ハートフォードは、自動車保険、住宅保険をはじめとする損害保険、再保険、各種生命保険のほか、投資金融商品、従業員向け福利厚生商品、団体退職貯蓄プランや法人向け金融商品などを提供しています。ハートフォード生命保険株式会社はザ・ハートフォードの子会社です。

ザ・ハートフォードに関するより詳細な財務情報の入手をご希望の方は、当社のホームページ（[www.thehartford.com](http://www.thehartford.com)）にアクセスしてThe Hartford's Investor Financial Supplementのページをご覧ください。

---

このリリースに記載された一部のステートメントは、1995年私募証券訴訟改正法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）において定義されている予見的情報（forward looking information）であるとみなす必要があります。当社は、投資家の皆様にこのような予見的ステートメントが将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は大きく異なる可能性があることをお断りします。投資家の皆様は、当社の事業に係わるリスクと不確実性が将来の業績に影響を及ぼす可能性を考慮することが求められます。こうしたリスクと不確実性については、皆様が入手可能な文書、例えば当社の年次報告書、SECに提出した文書等に記載されています。またこうした不確実性には、9月に発生した同時多発テロ事件に伴う被害の実態や額が予測できないこと、その他新事実の発覚、再保険契約下での再保険会社の今後の対応、再保険料の上昇がもたらす影響、予想以上の損失を被る可能性、経済および経営環境が予想よりも悪化する可能性、金利または株式相場変動の可能性、予想以上に競争が激化する可能性、当社にとって不利な法律の制定や司法判断の可能性および自然災害が予想を超える頻度または深刻度で発生する可能性などが含まれます。なお、当社では、発表当日後における本リリースの内容改訂については義務を負っていません。

< この件に関するお問い合わせ先 >

ハートフォード生命保険株式会社  
社長室 課長  
ブルース・エルズワース  
電話：03-5777-8083  
[bruce.j.ellsworth@hartfordlife.com](mailto:bruce.j.ellsworth@hartfordlife.com)

ギャビン・アンダーソン・アンド・カンパニー  
笠原佳世 / 宮川真理  
電話：03 5404 0640  
[kkasahara@gajapan.co.jp](mailto:kkasahara@gajapan.co.jp) / [mmiyakawa@gajapan.co.jp](mailto:mmiyakawa@gajapan.co.jp)